

## 1 市の概要

人口	73,734 人
保護率	1.3 %

## 2 支援状況調査（H30年度）

新規相談受付件数人口10万人当たり (件) 一月当たり	14.1
プラン作成件数人口10万人当たり (件) 一月当たり	3.2
就労支援対象者数人口10万人当たり (件)	2.4
就労・増収率(%)	52.4

## 3 実施方法について

実施方法	委託 単年契約 随意契約
事業費	1,800千円（平成30年度）
理由 (委託)	○平成22年度～27年度にかけて自主事業として課題を抱える「高校生の学習支援」と小中学生を対象とした「地域の子どもの学習支援」としての事業実績が認められるため。また、就労準備支援事業についても委託しており、高校生、卒業者に対しても継続した効果的な支援が行えると考えている。
事業概要	○生活困窮世帯、生活保護受給世帯等の小中高の生徒を対象に学習支援を中心とし、民家を借り上げ、教師OBを6名配置し「ひなた塾」という名称で集合型学習支援を実施。 授業について行き難いが、経済的に塾に行けない児童や、家庭学校で居場所のない児童 ○小学生…火曜日・金曜日 16時～17時30分 ○中学生…月曜日（数学）・木曜日（英語） 18時30分～21時00分 ○高校生…対象者 定時制高校、通信制高校、その他学習支援が必要な者（ひきこもり等課題を抱える子どもの進学先として多いため） 月曜日（数学）火曜日（理科）木曜日（社会）金曜日（英語）13時30分～15時
その他 特記事項	○高校生については、主に定時制、通信制生徒の受け入れをしており、就労準備支援事業の利用併用者もいる。

## 4 事業実績（H30年度）

利用者	小学生	中学生	高校生
19人（生活保護11人、生活困窮8人）	2人（生活保護2人）	13人（生活保護9人、生活困窮4人）	4人（生活困窮4人）

※事業を利用した中学3年生（3人）の高校進学率100%

## 5 事業実施のポイント ～子どもにとっての居場所づくり～

### Point

日常の学習支援や定期的に行っている食事会(法人独自)において、指導員等との交流など、家庭的な雰囲気の中で大人との信頼関係を築く場ともなっており、子どもたちにとって、家庭や学校以外のもう一つの居場所となるよう努めている。



## 6 取り組んで良かったこと

○中学三年生については個別指導により高校入試に向けた学習がわかるようになったと好評である。在籍していた生徒は全員高校に進学できている。  
○受講生間の交流が深まり、学習面の向上だけでなく、コミュニケーション能力の向上も認められた。